

民衆の声
ボイス

No.103

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

公明党市議団の要望が実現へ!

「横浜市中期計画2022~2025」を策定

「子育てしたいまち・次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略とした4年間の計画である「横浜市中期計画2022~2025」が基本計画特別委員会で審査され、可決成立しました。公明党横浜市議団が要望してきた数々の政策が、大きく市の中期計画に反映されました。

小児医療費を完全無償化 中3まで所得制限撤廃

《小児医療費助成の拡充へ 公明党市議団の歩み》

- 1992年 横浜市会で初めて無料化を提唱
- 1995年 0歳児の通院・入院が無料化
- 2007年 就学前児童まで対象を拡大
- 2012~17年 小1→小6まで対象を拡大
- 2019年 中3まで対象を拡大
- 2021年 1,2歳児の所得制限を撤廃

令和5年度予算案に反映



本年8月から中学3年生までを対象に所得制限および一部負担金を撤廃し、完全無償化となります。

全ての生徒へ栄養バランスの整った給食を提供

中学校給食の更なる拡充へ



令和5年度予算案に反映

“ふた”をあけるワクワクの毎日。

- 全員給食に向けて、設計50校、工事25校について配膳室の整備を行う。
- 喫食率アップの取り組みを強化する。



予算特別委員会報告(国際局審査)

ウクライナ避難民の支援を推進

ロシアによるウクライナ侵略から、1年が経過しています。仁田市議は、先に避難民の拠点施設であるウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」(ウクライナ語で友だちの意)を訪問し、避難民の皆様と意見交換。「この施設があることで友人とも会えて情報交換できたり、寛いだりできて助かっている」等の感想を頂いています。

今後は、避難生活が中長期化するなか、避難民の“活躍”をサポートする取組が必要と、主張しました。

国際局長は、「オール横浜で寄り添ったサポートを続ける」と答弁しました。



居合わせた避難民の方々と意見交換



戦禍を逃れ親元を離れて生活し、サッカー選手を目指し練習に励む19歳の「ヤリク」さん



公明党横浜市議員団
南区政務調査事務所 所長
横浜市議員

仁田まさとし



仁田まさとし 検索
メルマガの登録はこちらへ

多文化共生の社会に向けて

横浜市内の在住外国人は10万人を超え、地元南区でも約1万1千人(100か国)の方々が暮らしています。生活面の困りごとと共に、医療面でのサポートが重要と主張。

また、海外からの人材の活躍を促進するため、外国人を対象として満足度調査等を継続的に行うべきと提案しました。

国際局長より、多文化共生への具体的な取り組みを促進する旨の答弁を得ました。



横浜上海友好都市提携50周年

今年は、横浜上海友好都市の提携が行われて50周年を迎えます。横浜市は、未来を担う若い世代を中心とした市民交流を積極的に推進します。

横浜・上海友好都市提携45周年、記念イベント開催の様子



2013年の提携40周年に市会副議長として訪中し、蔡威上海市政治協商会議副主席と対談

公明党の主張が令和5年度予算案に大きく反映しました!

1.子育てに安心を

出産子育て応援金

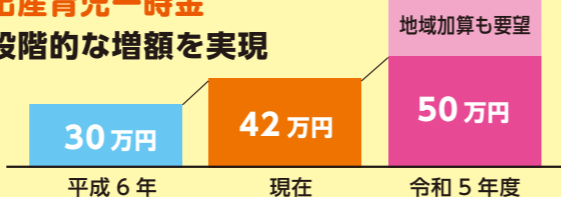
● 出産・子育て応援金

妊娠・出産時にそれぞれ**5万円**(合計10万円)支給
※令和5年2月1日、実施開始!

- 子育て世代包括支援センターの機能強化
- 伴走型相談支援の充実
- 一時保育、病児・病後児保育の充実
- 医療的ケア児等の受け入れ環境整備
- 放課後の居場所づくりの充実・子育て住まいサポート
- ひとり親家庭等自立支援(子ども食堂、フードバンク)

出産育児一時金

● 出産育児一時金
段階的な増額を実現



2.暮らしの安心へ

認知症支援事業

認知症疾患医療センターの充実、若年性認知症支援、スローショッピングの普及・啓発



- 帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた調査
- 各種がん検診の受診率向上に向けた取組
- 新たな介護人材の確保、定着支援
- お悔やみ窓口の設置検討
- ヤングケアラー支援の充実
- ひきこもりなど困難を抱える若者支援(SNS相談窓口)

地域防犯カメラの設置を大幅増加

100台から
150台に



3.災害への備えを

学校体育館への エアコン設置を加速

令和元年~4年度まで
エアコン・大型冷風機を89校に設置

令和5年度は
エアコン28校、大型
冷風機は希望校へ!

- 避難行動計画「マイ・タイムライン」の周知・作成支援
- 木造住宅・マンションの耐震化支援
- 雨水幹線の整備、がけ地の安全対策

防災アプリ の本格運用



4.地域交通の充実へ

地域の総合的な移動サービスを を検討



敬老特別乗車証(敬老パス) の維持



- バス路線の維持
- 新たな移動サービスの検討
- 地域交通サポート

5.教育環境の充実へ

グ ロー バ ル 教 育 の 充 実



学校の エレベーター 設置

- 不登校児童生徒への支援拡充
- 計画的な学校建替え



政務活動最前線

AI活用による交通調査

1月31日、市議団は、AI解析による交通調査を視察しました。

この調査は、交差点の混雑状況を動画で撮影後、AIによる映像解析を行うことで、課題を可視化(数値化)し交差点の安全確保の取組に繋がります。



戸塚駅西口駅前の調査現場を視察する市議団(福島・久保・中島議員)

ウクライナ避難民のサッカー選手を支援

2月3日、市議団は、横浜市に避難してきたウクライナ避難民のサッカー選手・ヤリクさんと面会しました。

ヤリクさんは市議団の橋渡しにより、市内で活動するフットサルチーム「横浜FC」の下部組織「アカデミー」に在籍することができ、練習に励んでいます。



市議団(福島・仁田・中島議員)と談笑するヤリクさん